令和6年度　集落支援員活動報告書

[2025年06月]

活動報告書

小林　正和

巡回バス及びニコニコ軽体操教室

ニコニコ軽体操教室

令和６年度は毎月2回開催し、利用人数は１回平均11.4名の方が参加されました。令和７年度は、健康運動指導士の資格を取得する予定です。参加についての、事前の予約は必要ありません。お問合せは、公民館48-2134までお気軽にご連絡ください。公民館だよりでは、毎月の軽体操教室の様子と翌月の日程をお知らせしています。そちらも併せてご覧ください。

巡回バス

令和６年度のデマンド《巡回》バスの利用状況は以下のとおりでした。利用の内訳は、村内便の利用がわずかに山岳交流センター線の利用を上回りました。その要因は、おんたけ交通バスや三岳交流センター線の接続便の利用が増えたことがあげられ、昨年度よりも延べ乗車人数は減少しましたが、免許を返納した方など高齢者の利用は増えています。他にも、高原地区にお住まいの、住民票のない方も役場に登録申請をして、巡回バス村内便に乗車ができるようになりました。約50人の登録があり、実際に利用されています。

令和７年度は、木曽郡全体の公共交通再編が10月に予定され、王滝村発着のバスの本数はそのまま維持されますが、ダイヤが変更されます。巡回バスもそれに伴い、発着時間が変更になり、８月頃の回状でお知らせする予定です。

村内便のご予約は、乗車の１週間前から前日まで受け付けています。当日でも相談の上、希望に近い時間で応じます。その他、巡回バスに関するご質問やご相談、ご予約は巡回バス予約電話48-1008まで、お気軽にお問合せください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
延べ乗車人数（人）	92	88	71	92	81	68	89	87	90	52	49	68	927	77.3
内　三岳線乗車人数（人）	37	42	44	53	36	31	38	42	32	26	27	37	445	37.1

活動報告書

山下　朝生

有害鳥獣対策

自己紹介

家族で王滝村に移住して８年、集落支援員として有害鳥獣対策をテーマに活動しています。

有害鳥獣パトロールやテレメトリー調査で村内を巡回していますので気軽に声をかけていただければと思います。

活動内容

〇有害鳥獣出没や被害状況の情報収集
〇捕獲・防除・助言など一連の有害鳥獣被害対策業務
〇木曽地域有害鳥獣対策協議会出席
〇ワクチン散布、林道ゲート付近消毒等、豚熱関連対応
〇ニホンザルのテレメトリー調査
〇除雪、林道維持作業、林務補助作業

個人の活動

プライベートでは、公民館での卓球教室開催のほか、本田地区での水稲栽培、自家施工ハウスでのミニトマト栽培、中越地区での王滝かぶ栽培に取り組んでいます。

活動報告書

井川　竜太

寺子屋運営

事業概要

おうたき寺子屋は、地域の子どもたちの学習支援と多世代交流を目的とした居場所づくりの一環として、週に３～４回、16：00～21：00の時間帯で開室しています。中学生を対象とした高校入試対策を中心に、高校生や大学生にも自習スペースとして活用いただいています。学年の異なる生徒間の交流を通じて、多世代が関わる学びの場を提供しています。

活動内容

〇学習支援

中学生の定期テスト対策、高校入試に向けた個別指導、高校生・大学生の自習サポートを実施。必要に応じて資格取得の支援も行っています。（例：日商簿記など）

〇進路相談

各生徒との対話を通じた進路相談や体験談の共有を実施しています。

〇多世代交流

学年の異なる生徒間の談話や学び合いを目的とし、世代を超えた交流を実施しています。

利用状況

・開室回数：年間約160日　　・平均利用者数：１日あたり２～３名

・入試直前期（12～３月）には開室回数を増やし、個別対応の時間を拡充

・利用者層：中学生、高校生、大学生

近年、子どもの減少に伴い全体の利用者数はやや減少傾向にありますが、定期的に通う中学生や受験期に集中して利用する生徒もおり、個々のニーズに応じた支援を継続しています。

利用者からの声

・家では集中できないため、寺子屋に来ることで勉強がはかどる

・学校以外で質問できる環境があるのは助かる

今後の課題と展望

生徒数の減少に伴い、中山間地域では学習環境の差がより目立ってくることが考えられます。おうたき寺子屋としては、そうした地域間の差を少しでも埋められるよう、引き続き子どもたちの学びを支えていきたいと考えています。

学習の場としてだけでなく、子どもたちが安心して過ごせる「居場所」としての役割も大切にしながら、これからも地域の状況に合わせて柔軟に活動を広げていきます。

本年度も多くの皆様のご支援・ご協力を賜り、ありがとうございました。来年度も地域の子どもたちの成長と学びを支える場として、一層の充実を図ってまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

活動報告書　杉野　明日香

空き家バンク、移住サポートセンター、移住ポータルサイト企画
長野県立大学プロジェクト伴走支援、地域おこし協力隊制度運営サポート

空き家バンク
移住相談

〇空き家バンク問い合わせ（R６.４-R７.３）
　54件（R５.10件）…移住された方０名
〇移住相談（R６.４-R７.３）
　８件（R５.２件）…移住された方１組

31 Ron.March,2025
みんなここで大きくなった――村の保育園を訪ねて

令和６年度
空き家新規
登録物件

賃貸：２件（成約２件）
売買：７件（成約２件）

移住ポータル
サイト

〇新規掲載記事
　すんき、王滝村ご当地Tシャツ関係３件、保育園、インバウンド、郷土食キッチン
　ホームページURL：https://hardmodelife-otaki.jp/
　　ハードモードライフ王滝

長野県立大学
プロジェクト
伴走支援

令和６年度は長野県立大学６名が活動しました。
〇伴走支援内容
・運動会実行委員として活動　・夏祭り出店　・公民館祭り作品出店
・空き家DIYイベント３回開催　・活動報告会

令和７年度の
活動について

　令和６年度の活動を継続しつつ、ポータルサイトの拡充や空き家バンクの物件増加を目指していきます。現在の全国的な移住の状況は以前に比べ緩やかにそして安定的な移住へとよりニーズが高まっています。ですが、これまで移住者や県大生のような外部の人たちを自然な形で受け入れられる王滝の風土や自然や文化的な生活を求めて移住される方々はいらっしゃるので、そういった層に届く活動ができたらと思っています。
　長野県立大学の学生とのプロジェクトも４年目となります。今回は４名の個性豊かな学生が活動します。個々で異なる興味をもっており、活動への意欲と村民との対話や交流を求めていますので、今年度もご協力お願いいたします。

活動報告書

宮本　美弥子

農業全般、介護予防教室

遊休農地の開拓・利活用

本田地区で田んぼとして開墾した２面から、収穫した米・もみで600kg採れ、小学校、保育園、社協、公民館、村のイベントなど、すべて村内の施設やイベントに提供しました。昨年のハーフマラソンでは、230kg分が景品となり、王滝村のきれいな水と空気で育ったこしひかりと米袋のパッケージに記載いただきました。この田んぼを引き継いでくれる方も見つかり、この秋も首を垂れる黄金の稲が見られます。

また、地域交流と遊休農地の利活用を兼ねて、大豆の栽培を手がけました。JA女性部の畑の会のみなさんのご協力で、大豆の栽培を行い、できた7kgの大豆を使い、公民館の郷土食講座と共催で、「昔ながらの味噌つくり」を開催しました。夏の出来上がりが楽しみです。

小学生と赤かぶの栽培

毎年、小学校の児童と先生で、赤かぶの栽培にチャレンジしています。県の農村支援センターの職員に伝統的野菜の話や赤かぶの事を学び、そのあとは、慣れた手つきで種まきをしました。また、村の名人を講師に迎え、すんき作りも行い、木曽町の品表会では、昨年に引き続き賞を取ったと聞いています。

今後の課題

高齢化に伴い空き圃場が増えていきます。せっかく使える圃場も、草だらけにならないよう、どう管理していくのか、また、村の特産物である赤かぶの収穫が減りつつあり、どう維持していくのかなどが課題だと思っています。

活動報告書

加藤　大雪

巡回バス、延長保育、環境保全

巡回バス

巡回バスの運行では村内のデマンド運行から、三岳交流センターへの接続便の運行を行っており、利用者様の生活の利便性向上のため、安全運転に努めています。

延長保育

保育園の延長保育では、園児たちのお迎えまでの時間を楽しく安全に過ごしてもらえるように常に笑顔を忘れず、楽しい時間を提供できるようにしています。

景観整備

村内の草刈りから、支障木撤去、空き地や山林の整備を行っています。
道路や電線などにはみ出すような木や草などを撤去し、暮らしやすい環境作りに努めています。

除雪

冬時期には、除雪車の運転をしていて、主に高原地域の除雪を行っています。深夜帯の作業になるので肉体的に辛いこともありますが、道路や施設の利用が快適にできるよう努めています。

個人の活動

業務以外の時間では、消防団活動や有害鳥獣の駆除（狩猟）にも従事しており、村の力になれるように頑張っていきたいと思います。

■ お問合せ先 ■

王滝村役場　総務課企画財政係